



公益信託あだちまちづくりトラスト
第11回 助成活動団体
成果報告会報告書&
助成制度のご案内

開催日時：令和元年10月20日(日)
午後1時15分～4時
開催場所：東京電機大学
東京千住キャンパス1号館100周年ホール

あなたの

まちづくり

応援します！

を



令和元年10月20日(日)、「第11回公益信託あだちまちづくりトラスト助成活動団体成果報告会」を開催しました。今回は、平成30年度にまちづくり活動を行った団体のうち、10団体による成果報告の後、来場者・団体の方の情報交換や連携を図ることを目的に交流会を行いました。

目次 + 当日プログラム

- ・千住でのモノ市の実施 ▶ 千住でのモノ市実行委員会 p.4
- ・地域の緑化やポイ捨てゼロ作戦、交通安全など、地域の美化促進と活性化に関する取組 ▶ 竹の塚中学校活用推進委員会 p.5
- ・千住地域の魅力を伝えるガイドブックの制作 ▶ NPO法人千住文化普及会 p.6
- ・「佐藤元長日記」単行本発行 ▶ 安藤昌益と千住宿の関係を調べる会 p.7
- ・千住地域での映画制作および上映事業 ▶ 知らない路地の映画祭制作委員会 p.8
- ・2018年第4回第九を歌おう! inあだち ▶ 特定非営利活動法人ムジカ・フレスカ p.9
- ・みらいママハッピールーム ▶ みらいママ p.10
- ・青井といえばバラ。バラを通じた地域の人達とふれあいのあるまちづくり。 ▶ バラのまち青井をつくる会 p.11
- ・相続人不存在の(所有者消滅)空き家の相続人不在の(所有者消滅)空き家の実験的整備事業の研究 ▶ 一般社団法人まちなか整備・管理機構 p.12
- ・花畑川を活かしたまちづくりの推進 ▶ 特定非営利活動法人エコロジー・夢企画 p.13
- ・平成30年度助成活動団体一覧 p.14
- ・まちづくりトラスト 助成制度のご案内 p.15

【当日プログラム】

- 13:15～
開会/開会挨拶/
参加者・報告団体紹介
- 13:30～
トラスト助成活動団体成果報告発表
- 15:30～
情報交換・
交流のためのフリートークタイム
- 16:00～
閉会挨拶/閉会



はじめに



加藤 仁美 委員長
東海大学 教授

自助、共助を育てるまちづくりの力に期待
先日の台風19号のように今後も大きな災害が起これと言われています。公助、自助、共助の重要性が問われますが、現実的に公助を期待してもなかなか難しい面があります。その中で30年来続く「あだちまちづくりトラスト」が、自助、共助を育てていく区民の力になっているのではないかと期待しています。本日、ご報告いただく10団体の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

足立区を代表して



大山 日出夫 運営委員
足立区都市建設部長

豊かな発想にもとづくバラエティに
富んだまちづくり活動
あだちまちづくりトラストは、地域の皆さんの創意工夫にもとづく活動に助成をさせていただいています。子育て、歴史、エコロジーなど、非常にバラエティに富む内容で、地域の皆さまだからこそその成果だと実感しています。本日は、報告会の後に交流会もありますので、情報交換等に役立ていただき今後の活動へ広げていただければと思います。

報告会スタート!



コーディネーター
吉満 明子 運営委員
(株)センジュ出版 代表取締役



今後の活動につながる交流と出会い



小川 清美 信託管理人
税理士

閉会挨拶

ご報告をうかがいまして、助成金が有効に活用されていることを実感いたしました。また、毎回、会を運営するにあたって多くの方にご協力いただいていることをこの場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。最後に皆様方のご協力をいただきまして成果報告会が無事終了いたしましたことに感謝を申し上げます。

全体講評



中林 一樹 運営委員
明治大学特任教授

あだちまちづくりトラストの成果を実感

助成10団体の活動報告、金額でははかれない大きな成果を出していただいていると感じました。

●竹の塚中学校活用推進委員会

竹坊が立体化し、活動がまちに広がり、竹の塚のまちづくりのターニングポイントになったと思います。今後も時間と空間を縦横につなぎ、よいまちづくりを展開されることを期待しています。

●知らない路地の映画祭制作委員会

映画の作り手がいて、支え手がいて、見る人がいて、千住という舞台があり、それがミックスされて千住の新しいまちづくりを羽ばたかせていく活動になっていると感じました。

●みらいママ

核家族化の時代、どのように子育てしていくか、それは、家族問題にもつながります。子育てを通して新たなコミュニティを作る、そういう子育てまちづくりというのが、これから非常に大事になってくることを先取りされている活動だと感じました。

●一般社団法人まちなか整備・管理機構

空き家問題・老朽家屋対策の解決をされていますが、今後、災害時を考えると、災害の後の復興でも役立ち大きな役割を果たすそんな活動も展開していくのではないかと感じました。

●千住でのモノ市実行委員会

物売るのではなく、物を作ることを売る、そういう活動を通して人の輪が広がり、まちづくりとしての展開が期待できると思いました。

●NPO法人千住文化普及会・

安藤昌益と千住宿の関係を調べる会
歴史文化から千住のまちを考えてみるものが未来の千住につながり、子どもにも受け継がれる、千住に大きなレガシーを残す活動だと思いました。

●特定非営利活動法人ムジカ・フレスカ

合唱というのは、まちづくりそのものです。まちに住む人が全体でハーモライズされた時に、いいまちだね、ということになる。音楽を通して、そこを表現していただいていると思いました。

●バラのまち青井をつくる会

バラのまち青井をつくる会はもう卒業で、バラのまち青井を育てる会にして、次のステップにすすんでいただきたいと思います。

●特定非営利活動法人エコロジー夢企画

まちをよくすれば、川もよくなることに気がつくことが川を生かし、川を考え、川づくりから、まちづくりを考えるという発想につながっているエコロジー夢企画さんの原点だと思いました。

足立区のまちづくりの担い手として、たくさんの方がおられることを実感しました。今後の活躍を期待しています。

千住でのモノ市実行委員会

千住でのモノ市の実施



発表者
溝口 靖浩さん

身近なまちづくり
活動コース

30万円

【平成30年度に実施した活動内容】

平成30年4月より準備を始め、名称やロゴデザインの決定、HPの開設、SNSでの情報発信、出店者への声かけ、出店者選定、チラシの制作配布などを経て、12月に第1回目の「千住でのモノ市」を開催し約1,000人の方にご参加いただきました。開催後、平成31年3月までに記録冊子の製作を行いました。

千住地域で活動している複数の地域団体（音まち計画、千住いえまちプロジェクト、mama千住、千住ヤッチャイ大学、他）のメンバーが協力し合い、「手づくり市」を中心とした交流を生み出す場となるような定期市の育成・開催を目指しています。

👍 活動の成果

「千住でのモノ市」というイベントを通して、人と人が会う、たくさんの新しい出会いと今後の関係性を育んでいける新しいつながりを生み出すきっかけとなる場を提供できたのではないかと思います。みんなで作る市をコンセプトに、実行委員会としても千住地域で活動する複数の団体間での新たな連携が図れました。

👉 次回活動に向けて

ご参加いただいた方、出店いただいた方、実行委員会からも定期開催を望む声があがっています。毎年、同じ時期に、千住地域で「手づくり市」を中心に、人と人、地域のつながりを生む場を継続して開催してするための仕組みづくり、トラストの助成が終了した後も続けられるよう、どう自立させていくかが今後の課題となります。



▲発表当日の溝口さん



▲第1回の様子～延べ1,000人の来場者～



▲第1回の様子～ポスター～



▲第1回の様子～パントマイム～



▲第1回の様子～ワークショップ～



▲出店者、来場者からは次回開催を望む声

講評

■ 定期開催、活動の継続を期待します

バラエティに富んだ内容の手づくり市、参加者のみなんで作り上げた取り組みだと思いました。今後の活動の継続についてお話しされていましたが、継続していくことは大変なことだと思います。別の地域で、盛況で運営されている手づくり市の取り組みを知っていますが、やはり継続することの大変さがあるようです。トラスト助成が終了しても継続していける仕組みづくりにも取り組んでいくとのこと、今後、自立して活動を継続していけるよう頑張ってくださいと思います。



小泉 博 運営委員
足立区議会議員

竹の塚中学校活用推進委員会

地域の緑化やポイ捨てゼロ作戦、交通安全など、地域の美化促進と活性化に関する取組

発表者
齋藤 由美子さん
國井 幹雄さん



竹の塚中学校オリジナルキャラクター「竹坊」を活用し地域の美化促進、安全安心のまちづくりを、竹の塚中学校の生徒、教職員、地域の皆さんの協働で行っています。地域コミュニティの活性化、さらには、まちづくりの将来の担い手の育成に寄与しています。

身近なまちづくり
活動コース

30万円

【平成30年度に実施した活動内容】

平成30年9月に、竹の塚中学校オリジナルキャラクター「竹坊」の着ぐるみを制作しました。同年12月に、「竹の塚安全・安心のまちづくりキャンペーン」に参加。平成31年2月には「竹の塚地区美化推進ボランティア」、3月には「子どもキッズ交通安全教室」に参加しました。平面から立体へと進化した「竹坊」が大活躍しました。

👍 活動の成果

さまざまな活動が続けることで、まちづくりへの参画意識が、子どもたちのみならず、地域の方々にも発信できました。地域の美化意識の促進、地域の方々と連携し活動することで協働意識の醸成、安全安心のコミュニティへ、地域内での自助・共助・公助の意識を高める絆づくり、地域づくりの発信に貢献できました。

👉 次回活動に向けて

地域の活性化やまちづくり活動に関して、今後は広報効果の向上を図っていききたいと思います。この活動を通して、子どもたちと地域の方々に、自分たちが生活する地域を愛して、よりよいまちづくりをしていっていただきたいと思います。一人ひとりが、体験、体感のなかで実感できるような取り組みを発信していききたいと思います。



▲発表当日の齋藤さんと國井さん



▲発表の様子



▲竹の塚地区防犯・防火駅頭キャンペーン参加



▲竹の塚地区美化推進ボランティアに参加



▲足立区の「ビュー坊」と

■ 地域を盛り上げていこうとする熱意を実感

竹の塚中学校を中心として、地域を盛り上げていこうという皆さんの情熱、熱い思いが伝わってきました。本当に敬意を表したいと思います。また、竹坊のキャラクター、平面から立体に進化したことで、アピール力もアップし、工夫されているなどと思いました。地域と学校との協働という点では、本当に参考になります。区としても、このような取り組みを参考にして、まちづくりに生かしていければと思います。美化精神の育成など教育的な意義も大きく、安全安心のまちづくりにも非常に効果的だと思いました。





NPO 法人 千住文化普及会

千住地域の魅力を伝える ガイドブックの制作



発表者
岡野 進さん
時沢 実さん

まちづくり
はばたき支援
コース
44万円

【平成30年度に実施した活動内容】

平成29年度はまちづくりトラスの助成を受けて「千住宿歴史ウォークガイドブック」の1冊目（千住一丁目～五丁目版）を作成しました。平成30年度は、①1冊目の出版記念講演会を開催しました。②街歩きガイドを育成し千住の観光振興に役立てるため、街歩きガイド養成講座を9回実施しました。③2冊目（千住一丁目～五丁目以外）の原稿作成の調査・資料収集を行いました。

千住文化普及会は、郷土の歴史や文化を地域の方や子供達に伝えていくことを目的に、千住の街歩きや街歩きガイドの派遣、千住宿探訪入門講座や勉強会を行っています。また、足立区観光交流協会から「千住街の駅」の運営を受託しています。

👍 活動の成果

出版記念講演会の開催や街歩きガイド養成講座は、①千住や区内在住の方々への愛着や郷土愛を育む土台作り、②千住宿の歴史に関心のある方や千住のファン層を拡大、③街歩きガイドを育成という成果をあげることができました。

👉 次回活動に向けて

出版記念講演会や街歩きガイド養成講座の参加者は、大部分が高齢者層でした。わずかに40～50歳台の方もいましたが、若者や中年層の参加者をいかに増やしていくかが今後の課題です。



▲発表当日の時沢さんと岡野さん



▲講演会参加者の集合写真



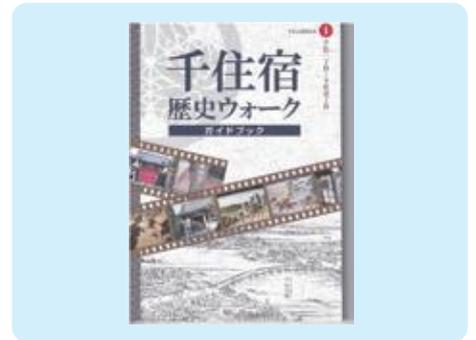
▲桑原講師による講演会の様子



▲ガイド養成講座・講義の様子



▲ガイド養成講座・街歩きの様子



▲「千住宿歴史ウォークガイドブック」

講評

■千住の歴史、文化を未来へ

代表者の櫛原さんが、たくさんの方を連れて、千住のまちを案内している姿をよくお見かけします。このトラスの活動以外にも、個人的に千住のために活動されていらっしゃるのだなと感心しています。今回、日光東照宮の造営に参与した甲良宗広が、徳川家から褒美としていただいたお屋敷の跡地（千寿常東小学校内）が千住にあることも取り上げていただきましたが、以前、校長先生とそのことについて話したことなどを思い出しました。千住の歴史や文化を地域の人々に伝えていく活動、今後も千住の未来に向けて頑張っていたきたいと思います。



瀬沼 剛 運営委員
足立区議会議員

安藤昌益と千住宿の関係を調べる会

げんちょう 「佐藤元長日記」単行本発行

発表者
相川 謹之助さん
矢内 信悟さん



2004年に千住の人々を中心となり結成。安藤昌益は、江戸中期、武士の支配を否定した「自然真営道」という書籍を残した医者・思想家です。自然真営道の原稿を持ち伝えた人物が千住に存在したという報告をもとに、千住の歴史や安藤昌益の研究を続けています。

まちづくり
はばたき支援
コース
75万円

【平成30年度に実施した活動内容】

「佐藤元長日記」単行本の発刊のための再検討作業と第6～8巻の版下を作成、出版社に入稿するための修正作業を行いました。注釈部分を充実させるための現地調査・資料調査・日記読合わせ会を開催しました。2020年春に単行本を発刊予定です。

👍 活動の成果

明治初頭の千住宿の実相の解明に役立つと推測される佐藤元長の日記を、当会会員が発見しました。佐藤元長は、会津出身の漢学者で森鷗外とも関わりのある人物。この日記を単行本として発刊するための作業が進行しています。また、明治初頭、足立区を統治した小菅県とその中心的施策であった「報恩社※」の解明調査を行いました。

※困窮した民衆を救済する社会事業

👉 次回活動に向けて

2020年春に「佐藤元長日記」単行本を発刊の予定です。明治維新後の混乱期の行政資料は全国的に乏しいのが現状で、足立区千住の実相を伝える貴重な資料となります。発刊以降も、当会のメインテーマであります安藤昌益と千住宿の関係の研究を続けていきます。



▲発表当日の矢内さん



▲2004年5月 千住の人々を中心になって結成



▲佐藤元長日記のブックレット版を発行



▲解読作業の様子



▲第15回総会の集合写真

■独自の切り口で紐解かれる千住の歴史

安藤昌益と千住宿の関係を研究するなかで発見された佐藤元長日記。全国的に行政資料が乏しい明治初頭において、千住宿の実相解明に役立つこの日記の存在は貴重であり、単行本の発刊が待ち望まれます。また、足立区が編集発行した「足立の今昔」の至らない点のご指摘もいただきました。これからも頑張って活動を続けていきたいと思えます。



知らない路地の映画祭制作委員会

千住地域での映画制作および上映事業

発表者
工藤 康浩さん
工藤 理佳子さん



東京都・アーツカウンシル東京・東京藝術大学音楽部・NPO法人首まち計画・足立区の5者共催で行われているアートプロジェクト事業の中のイベント「縁レジデンス友政麻理子の知らない路地の映画祭」の参加者有志で平成30年4月に団体を結成しました。



【平成30年度に実施した活動内容】

平成30年11月「知らない路地の映画祭2018」上映会を行いました。また、「第6回小暮人国際映画祭2018」に作品がノミネートされました。平成31年3月、NHK-BS「ニッポンがらり鉄道旅」に取り上げていただきました。令和元年5月「まちかど映画館～千寿てまり工房けら落とし上映会」を開催するなどの活動を行いました。

まちづくり
はばたき支援
コース

72万円

👍 活動の成果

私たちが行う文化活動・アートプロジェクトは、地域の方々を巻き込んで映画制作を行ってきました。その中で地域住民の方々、年齢や性別などの垣根を飛び越えた交流により人々の新たなつながりや縁が生まれ、まちの活性化に貢献できたと思います。また、ロケ地「千住」の魅力の再発見、情報発信もできました。

👉 次回活動に向けて

「人と人の縁づくり」「千住地域の魅力の情報発信」をより発展させるべく、映画制作、映画祭の開催、映画ワークショップの開催などの活動を継続的に自立して行っていくことが課題となります。積極的に他地域の自主映画祭への出品・応募、上映作品のBlu-ray化なども検討しています。



▲発表当日の工藤さん



▲ロケ地「タカラ湯」



▲ロケ地「飲み屋横丁」



▲撮影中の様子



▲NHK-BS「ニッポンがらり鉄道旅」



▲上映会の様子

講評

■文化、レガシーとなるような成果

歩いているといまだに知らない路地があるなど、常に新しい発見のある千住のまち。このまちが好きな地域の方々の思いによって、まちの魅力が作られているのだなと感じます。そんな千住のまちですが、まだまだ魅力の発信が弱いと言われており、オリピックに向けて、文化、レガシーとなるようなものを残せないかと、区でも活動しているところです。オリピックの後も、どれだけ多くの方が地域に根ざして活動して下さるのか、そういった点が大きな課題とされるなか、本事業の成果はひとつのモデルになるのではないかと確信しています。



勝田 実 運営委員

足立区政策経営部長兼広報室長

2018年第4回第九を歌おう！inあだち



特定非営利活動法人ムジカ・フレスカは、国内外の音楽の普及活動、音楽愛好家および音楽家の活動の支援、音楽文化の向上と歌のある平和で明るい家庭と社会づくり、音楽による地域、コミュニティの活性化を目指して日々活動を続けています。

まちづくり
はばたき支援
コース
127万円

【平成30年度に実施した活動内容】

第4回「第九を歌おう！inあだち」を、足立区在住・在勤・在学の方々の参加のもと、平成30年12月18日にギャラクシティー西新井文化ホールにて開催いたしました。参加者募集チラシの配布・参加者決定以降の4か月間、開催に向けて全16回のレッスンを、幅広い年齢のメンバーで交流をはかりながら行いました。

👍 活動の成果

足立区民の音楽文化のさらなる向上、地域住民の新しいコミュニティづくりを目的とした「第九を歌おう！inあだち」の開催により、高齢者から子どもまで、地域交流の促進、明るく平和なまちづくりの活動ができました。出演者はもちろん、ご来場いただいた聴衆によるコミュニティの活性化も目指しました。

👉 次回活動に向けて

わかりやすいサポート、基礎からの音楽レッスンにより、未経験の方でも安心して参加できる「第九を歌おう！inあだち」は、5年前のスタートから回を追うごとに参加者が増えています。今後も足立区の音楽文化の向上と新たな地域コミュニティのづくりとその活性化を目指して活動を続けていきます。



▲発表当日の関さん



▲発表当日の山崎さんと関さん



▲パートレッスン



▲オケ合わせ公開リハーサル



▲いざ本番

■まちづくりは、人づくりから

私ごとですが、今年82歳になる父が、数年前から第九を始め、今では、ボイストレーニングにまで通っています。同世代の人だけではなく、いろいろな世代の人、性別の違いも含め、多くの人と一緒になにかを目指すところが大きな魅力になっていると感じました。トラスト助成の活用となると、ハード面での取り組みが多く想像されるなか、まちづくりはひとづくりと考え、このようなソフト面での取り組みを今後も広げさせていただき、区民の皆さまが豊かになるような活動を続けていきたいと思っております。



みらいママ



みらいママハッピールーム



発表者
下坂 栄里子さん

まちづくり
はばたき支援
コース
120万円

【平成30年度に実施した活動内容】

育児に関する専門知識を習得できる「みらいママ講座」を、平成30年5月から9月まで、毎月全6回開催しました。育児情報の交換、ママ同士の交流がはかれる「みらいママハッピールーム」は、4月から平成31年3月の間に全24回開催。みらいママ講座の活動の周知のため外部イベントへの出展も4回行いました。

専門知識のある方から育児に関する知識の習得ができる「みらいママ講座（子連れ参加が可能）」を定期的に開催しています。また、ママ同士が育児情報の交換と交流ができる場、みらいママハッピールームの運営により子育て中のママへのサポートを行っています。

👍 活動の成果

講座、座談会の開催により、子育て中のママへのサポートや、ママ自身のママ力（りょく）向上に貢献できたと思います。活動に参加していただくことで、多くのママのママキャリアアップが実現し、育児を楽しめるようになることで、今後、足立区が育児のしやすいまちという魅力を発信して行くことができるようになると思います。

👉 次回活動に向けて

たくさんの方と関わり実感したことは、育児の本質的な悩みを解決するため、今後も内容の専門性を高めた事業を続けていきたいということです。また、子育てママが作るコミュニティ形成をサポートし「足立区を子育てしたい街No. 1」にすることが目標。講座等で参加費を徴収するなど、本活動の自立の方法を開拓していきます。



▲発表当日の下坂さん



▲みらいママ講座



▲みらいママ座談会①



▲みらいママ座談会②



▲ママをもっとハッピーに♪

講評



秋生 修一郎 運営委員
足立区地域のちから推進部長

■ ママの笑顔を絶やさないような運動の継続を

まちづくりは、人づくり。人生百年時代と言われるそうですが、大人になってからの生活習慣には、子どもの頃からの影響が大きいと言われています。そういう意味で、子どもの頃から、学校に入る前から、いろいろと取り組んでいただくことが、将来の足立区、東京都、広くは日本を支える非常に大きな財産になっていくのだと思います。ママだけでなくパパも一緒に、できればプレママも一緒に、こうした取り組みを地域のみなどで長く続けていくことが非常に大切だと思います。

バラのまち青井をつくる会

発表者
管野 加代子さん
大関 雅代さん



青井といえばバラ。バラを通じた地域の 人達とふれあいのあるまちづくり。



まちづくり
はばたき支援
コース
54万円

【平成30年度に実施した活動内容】

平成30年4月に会のユニフォームを会員全員に配布しました。5月には、青井小学校の鼓笛隊のパレードと演奏でオープニングを飾っていただき「青井バラまつり」を開催、2日間で600名の方に来場いただきました。7月には、バラ消毒講習会、11月にはビオラ苗、パンジー苗の植付け、平成31年1月には、バラ苗50鉢の植付けを行いました。

つくばエクスプレスが開業して10年が経ちますが、青井駅周辺はまだ整備されていない所も残ります。そんな駅周辺にバラの花や季節の花を植えて青井駅のイメージを変えていきたいとの思いが、バラのまち青井をつくる会の活動の原点です。

👍 活動の成果

ユニフォームを着用して作業することにより、地域の人に会の再認識をしていただけたと同時に、気軽に声をかけていただくことも多くなり、地域の方とのつながりが深まりました。バラの花を中心に季節の花を咲かせること、日頃から清掃やまちの美化を心がけることにより、防犯防災の意識の高まりも感じています。

👉 次回活動に向けて

足立区主催・花いっぱいコンクールに参加し、青井駅周辺の花壇は、3年連続で賞をいただいています。会員のモチベーションも高まっていますので、今後も花を植えるスペースを少しずつ広げていながら、明るくきれいなまちづくりに貢献していきたいと思えます。



▲発表当日の管野さん



▲発表当日の大関さんと管野さん



▲揃いのユニフォームとエプロンで



▲バラまつり フリーマーケット



▲バラの消毒・挿し木等の講習会



▲12月 バラ苗到着 植付け準備

■青井のバラのブランディングを！

ぜひ青井のバラを有名にさせていただきたいと思えました。青井に行けば、バラの手入れの仕方も教えてくれるよというような、情報の発信もあっていいと思います。青井のバラをブランド化して、いろいろと広げていただけると、そのことが青井のまちのイメージアップにつながっていくと思います。今すぐにはなくとも、長く続けていただいて、そのような方向性で進めていただけるとありがたいと思えました。美しい景観をありがとうございます。



相続人不在の(所有者消滅)空き家の 実験的整備事業の研究



発表者
葛生 貴昭さん

まちづくり
はばたき支援
コース
140万円

【平成30年度に実施した活動内容】

平成27年1月、火災で対象建物は全焼。このため建物ではなく廃棄物扱いとなり、空家特措法の対象外となった。別図、所有者不明の空家を処分する場合の手順に従い、申立から解体除却・売却処分まで、当法人が隣接地所有者の手続きを代行、進捗状況の注視など適切に関与してきました。

良好な住環境及び活気のある街並みを維持するため、社会問題化するまちなか整備(空家や空地・老朽家屋)の解決のために各分野の専門家が集まり、最善の解決策を模索、問題解決を一元的に行うことを目的に、平成27年に一般社団法人を設立しました。

👍 活動の成果

- 1 危険な火災現場の撤去・処分ができ、放置空き家の解消、周辺環境の向上、良好なまちづくり環境を形成することができました。
- 2 まちづくりトラストの活用により処分に最も時間のかかる所有者不在の空き家物件の除却の方法を確立することができました。
- 3 訴訟費用の一部(約58万円)をトラスト基金に返金することができました。

👉 次回活動に向けて

- 1 隣に所有者が分からない物件があっても一般人には解決方法がなく、空家特措法で解決できない事例が多くあります。
- 2 所有者不存在・消滅物件を強制的に処分できる法律の整備等も望んでいます。



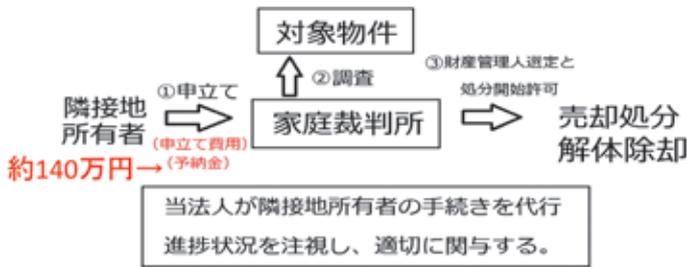
▲発表当日の葛生さん



▲火災で全焼した空き家



▲空き家解体後の現場



- 隣地の所有者さんに申立人になってもらう。
- ↓ 家庭裁判所が受理して不在者財産管理人(弁護士)が選任される。
- ↓ 不在者財産管理人が戸籍・財産等を調査
- ↓ 当団体が財産管理人に直訴して先行解体を打診、許可される。
- ↓ 建物解体→更地へ
- ↓ 土地の売却とそれ以外の財産の調査と処分を進める。
- ↓ 財産処分が完全に終了する。

裁判所が終了を宣言

▲所有者不明の空家を処分する場合の手順

講評

■まちづくりトラストの新たな活用法

私は、まちづくりのコンサルタントをしています。現在、空き家の件は、全国的に非常に大きな問題となっています。本日、ご紹介いただいたお話というのは、私も初めてお聞きして、こういう解決法があるのだなと勉強になりました。法的な問題であるとか、税制の問題であるとか、特に所有者がわからない空き家というのはとても扱いにくいと思います。そういった点で、これは、まちづくりトラストの新たな活用法ではないか、とそんなことを思いました。



松沼 勝 運営委員
足立区まちづくりカウンセラー

花畑川を活かしたまちづくりの推進



発表者
水越 雅子さん

まちづくり
はばたき支援
コース
150万円

【平成30年度に実施した活動内容】

平成30年6月19日、講師に土屋信行さんを招き公開学習「花畑川の歴史と防災を学ぼう」を実施しました。7月13日、十三中の二年生165名が「Eボート体験とヒートアイランドと川」の学習、10月20日「カヤックで花畑川のごみひろい」を実施しました。

11月29日、ワークショップ「川とまちをつなげるのは誰？」の公開授業を行いました。

川幅を半分にする改修工事が計画されている花畑川。地域住民および第十三中学校が連携し、川を使い、川を考え、よりよい川づくりにつなげることを目指して、専門家に学び、ワークショップで花畑川の将来像を語り合っています。

👍 活動の成果

この活動を行うことで感じたことは、中学生の子どもたちだけでなく、普段あまり川に関心のなかった地域の方々が、川に目を向けるようになってくれたことです。時代を担う地域づくり、川づくりの人材の発掘・育成に向け、新たな芽が育ち始めています。

👉 次回活動に向けて

活動に参加してくれた中学生たちが残してくれた言葉があります。「花畑川は、私たちが守る。私たちが、このまちを変える」と。生徒たちは、やがて有権者になります。この活動の経験が、川やまちづくりに活かされることを期待しています。



▲発表当日の水越さん



▲ワークショップ～Eボートに乗って花畑川を見てみよう！～



▲親子参加～カヤックでゴミ拾い！～



▲ワークショップ～川とまちをつなげるのは誰？～

■川を大切に、川からのまちづくりを

私は、以前、花畑川の利用計画というものに携わったことがあります。水上公園コースを立ち上げて、川を利用しようという計画を練り上げました。花畑川は、治水上それほど重要な河川ではなく、公園にして使えるのではないかと。このような自然環境を残していくことも重要ですが、もっとレクリエーションの場所として活用できるといいのかなと思います。そういった意味では、水辺に近寄れる、水に触れられる、さらには川の中に入れる仕組みを作っていただけると、もっと川を大切に、川からのまちづくりができるのではないかと思います。



平成30年度助成活動団体一覧

●身近なまちづくり活動コース

No.	団体または個人名	事業内容	助成金額
1	子育てスタイル研究所	「子育てにやさしい街づくりアンケート」やベビーカーによる区内のバリアフリー調査を実施する。	29万円
2	佐野町会・自治会連絡協議会	近隣の学校等に地下鉄8号線予定路線の横断幕の新規設置、葛西用水桜通りにのぼり旗の新規設置等を行う。	30万円
③	千住てのモノ市実行委員会	手づくりに関わるアーティストや職人や市民クリエイターの日々の成果をお披露目し、地域資源を生かした共有の場「マルシェ」を開催する。	30万円
④	竹の塚中学校活用推進委員会	本校オリジナルキャラクター「竹坊」を活用したプレートを竹の塚地域地域の公園に設置し、地域緑化、ポイ捨てゼロ作戦を推進する。「竹坊」の着ぐるみを作成し本活動のPRを積極的に行う。	30万円

●まちづくりはばたき支援コース

No.	団体または個人名	事業内容	助成金額
⑤	NPO法人 千住文化普及会	1冊目の「千住宿歴史ウォークガイドブック」出版記念講演会の開催、街歩きガイド養成講習、2冊目の原稿作成の調査・資料収集を行う。	44万円
⑥	バラのまち青井を作る会	青井駅周辺及び活動地域でバラの花を中心に、花壇、プランターの置き場所、立札、看板等を整備する。	54万円
⑦	知らない路地の映画祭制作委員会	千住仲町を中心とした千住地域全般での「共同作業」による映画づくり、映画上映を通して地域の風土や風景の魅力発見につなげる。	72万円
⑧	安藤昌益と千住宿の関係を調べる会	江戸から明治に至る千住宿の実相を記録している佐藤元義の日記8冊の翻刻単行本発刊等により、千住文化の継承と人々の生活実態を明らかにする。	75万円
⑨	みらいママ	区内の子育て中のママのサポート、自分と向きあう時間を持つ場所の提供や講座開催を行う。	120万円
⑩	特定非営利活動法人ムジカ・フレスカ	区内在住・在勤・在学の方々が参加する「第九を歌おう! inあだち」を開催する。	127万円
⑪	一般社団法人まちなか整備・管理機構	区内の増え続ける放置空き家問題・老朽家屋対策の解決と、住みよいまちづくりのための実践的活動を行う。	140万円
⑫	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	花畑川を使ったEポート体験・環境調査と地元住民及び中学校が連携したワークショップを開催する。	150万円
13	塚本 祐士	区内小学校の学級活動、地区公開講座等でデザイン絵本を通じ自分の住む町を知り、考える、関心を持つ機会を提供する。地域が笑顔になるまちづくりに展開できるような仕組みを目指し、子どもたちのまちに対する声を集め行政へフィードバックする。	199万円
14	第18地区水害対策委員会	第18地区に所属する全町会・自治会で、「中川や荒川の大規模氾濫に対応するためのコミュニティタイムライン(事前防災行動計画)」を作成する。	200万円
15	千住コンテンツ文化研究会	キャラクター達が千住の街中を縦横無尽に動き回るアニメーション映像作品を制作する。	200万円

●まちづくりイベント・整備活動コース

No.	団体または個人名	事業内容	助成金額
16	旧道を楽しくしようかい(会)	千住河原町の旧日光街道沿いの歴史の一部を再現するため設置した木材のやっちゃ場説明看板等をアルミ製看板に補修する。	36万円

●街並み空間・自主管理歩道等助成コース

No.	団体または個人名	事業内容	助成金額
17	グリーンプラザ竹の塚	インターロッキング工事及びL型溝改修工事を実施する。	79万円
18	ダイアパレス ラ・セーヌ小台公園管理組合	擁壁撤去およびインターロッキング整備を実施する。	113万円

●一般助成コース(旧コース)

No.	団体または個人名	事業内容	助成金額
19	伊興ソーシャルファーム実行委員会	知見を持つ専門家と協働して、先駆的な菜園体験教育プログラム、農園参加者や農や食に関心が高い市民の交流や学びのためのイベント等を行う。	299万円

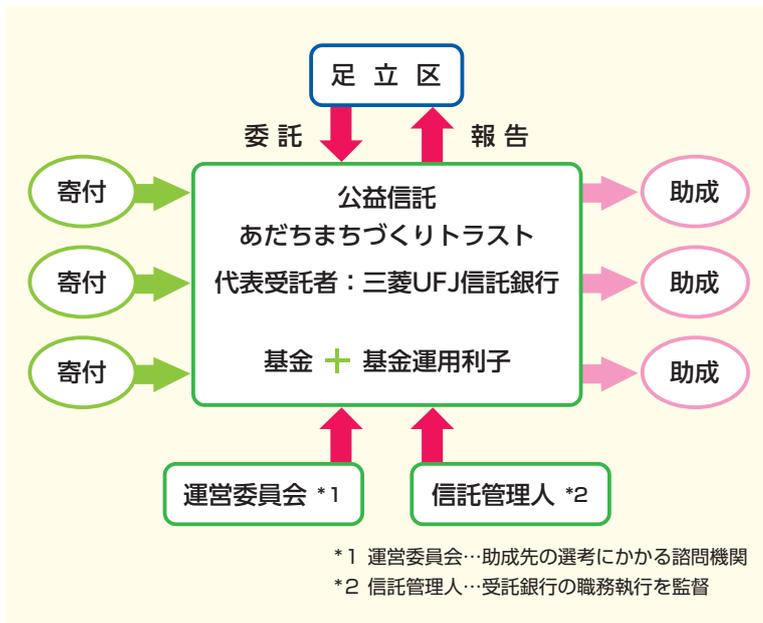
※No.に○がついている団体は成果報告会出席者

公益信託あだちまちづくりトラス 助成制度のご案内

区民のみなさまの創意工夫あふれる自主的なまちづくり活動を応援します。

■まちづくりトラスのしくみ

当基金は、助成事業を通じて快適で文化的なふれあいのあるまちの創造に寄与することを目的としています。この趣旨にご賛同くださる方からの寄付金を、公益信託法に基づき足立区が信託銀行に委託し、運用益等でまちづくり活動を行う個人又は団体に助成しています。



■助成事業

1 まちづくりに関する活動

【例えば…】

- ・防犯、防災に関する体験・ワークショップ
- ・地域に残る史跡や歴史をテーマにした冊子の作成
- ・ヒトやモノが集まるイベント事業
- ・子育て、貧困の連鎖、健康寿命に関する講座

2 公園・道路等の公共施設での都市景観整備等の活動

【例えば…】

- ・花や樹木による美化活動
- ・記念碑の設置

3 公開性の高い民地での都市景観整備等の活動

【例えば…】

- ・マンションなど自主管理歩道の整備
- ・区の指定する歴史的・伝統的建造物等の保全活動

■助成コース

助成コース名	活動内容	助成対象者	助成限度額	助成回数
学生のまちづくり活動	調査・研究・活動・整備事業	個人又は団体(中・高・大学生に限る)	10万円以内	1回限り
身近なまちづくり活動		個人又は団体	30万円以内	5回まで
まちづくりはばたき支援			総額500万円以内	5回まで
まちづくりイベント・整備活動	調査・研究・活動・整備事業・イベント		300万円以内	1回限り
街並み空間・自主管理歩道等	整備事業	個人又はマンション管理組合等	300万円以内	制限なし

■助成対象経費

- ・謝礼金、日当等
- ・印刷経費
- ・レンタル・リース料(会場使用料)
- ・打合せ経費(お茶代)
- ・役務費(郵送料、保険料)
- ・工事費(工事経費、自主管理歩道)
- ・物品購入費(コピー用紙、事務用品)
- ・委託料
- ・交通費

※経費は一例です。

※団体等の運営に必要な事務費、人件費、物品購入費等の経常経費は助成対象外です。

※詳しくは公益信託あだちまちづくりトラス運営指針及び運営指針細則をご覧ください。

／ トラストの申請方法 ／



活動成果の発表やPRを行う場合は、トラスト助成を受けた旨を表示して下さい。

トラストを受ける条件

- ① 営利を目的としない活動であること
- ② 団体の運営や代表者の選任方法が、会則、規則等で決まっていること
- ③ 同一内容の企画で区又は区の関係団体から助成を受けていないこと
- ④ 宗教・政治活動を目的としない活動であること
- ⑤ 社会の秩序や安全に脅威を与え、社会の発展を妨げる団体及びその構成員、個人でないこと

お問い合わせ

代表受託者(申請書類提出先)

三菱UFJ信託銀行
リテール受託業務部公益信託課

フリーダイヤル
0120(622)372

〒164-0001 中野区中野3-36-16

公益信託
あだちまちづくりトラストHP

申請相談

足立区都市建設部市街地整備室 まちづくり課管理調整係
TEL 03(3880)5915(直) FAX 03(3880)5605 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
メール：machi_shien@city.adachi.tokyo.jp

